

夢をかなえたい若者を大学等卒業まで支える  
奨学金支援プログラム

# カナエール2014



カナエール実行委員会

運営：認定NPO法人ブリッジフォースマイル



# INDEX

---

- ◆ NPO法人ブリッジフォースマイルのご紹介
- ◆ 奨学金支援「カナエール」のご紹介



# 日本の約3万人の子どもたちが親と暮らすことができず、 児童養護施設で暮らしています

## 児童養護施設とは・・・

- 様々な家庭の事情により、家族と暮らせない子どもたちが生活する施設です
- 全国には約**580施設**あり、2歳から18歳の子どもたち約**31,000人**の子どもたちが生活しています
- 入所の理由としては、従来から親の死亡、行方不明、入院、拘禁、養育放棄などが挙げられますが、近年最も顕著な理由は虐待です。施設で生活する子どもたちのうちおよそ**半数が虐待を受けています**



## 時代と共に変化する役割

### ■ 戦後（1950年代）

戦災孤児救済  
浮浪青少年の収容

✓ 衣食住の提供

### ■ 高度経済成長期（1980年代）

出稼ぎ労働者  
崩壊家庭の補完

✓ 衣食住の提供  
✓ 進学支援

### ■ 現在（2000年代）

被虐待児の保護  
家庭養育の補完

✓ 衣食住の提供  
✓ 進学支援  
✓ 心理療養  
✓ 家庭復帰支援  
✓ 自立支援  
✓ 退所後支援

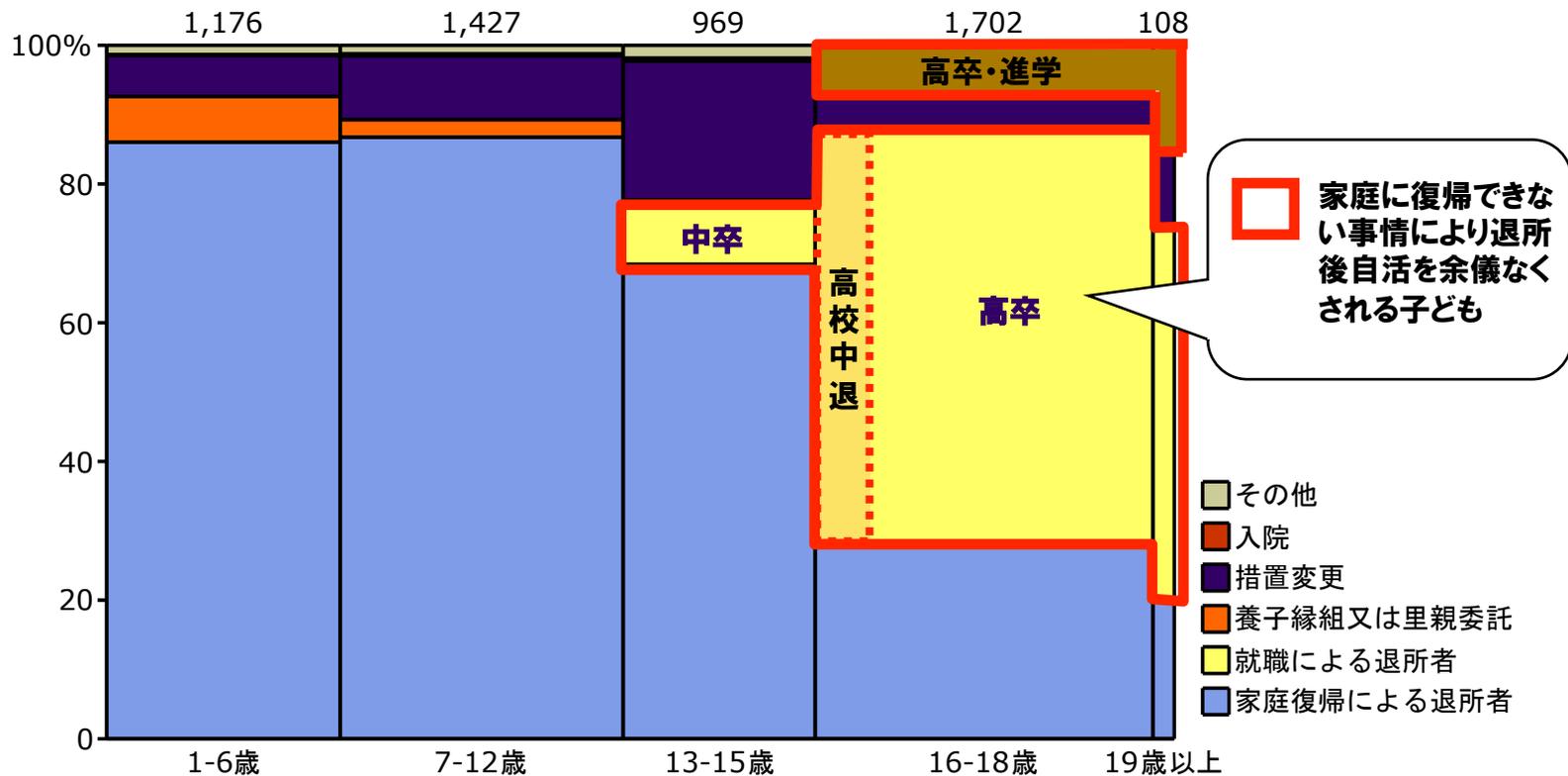
※なお、このような子どもたちを養育する制度としては、ほかに里親制度がありますが、血縁関係を重視する文化的背景のある日本では十分に根付いておらず、里親に委託されている児童はわずか3,400人程度です。



# 幼少の子どもたちの多くは家庭に復帰しますが、 15～18歳で児童養護施設を出てひとり立ちする子も多いです

児童養護施設の退所理由(FY2006)

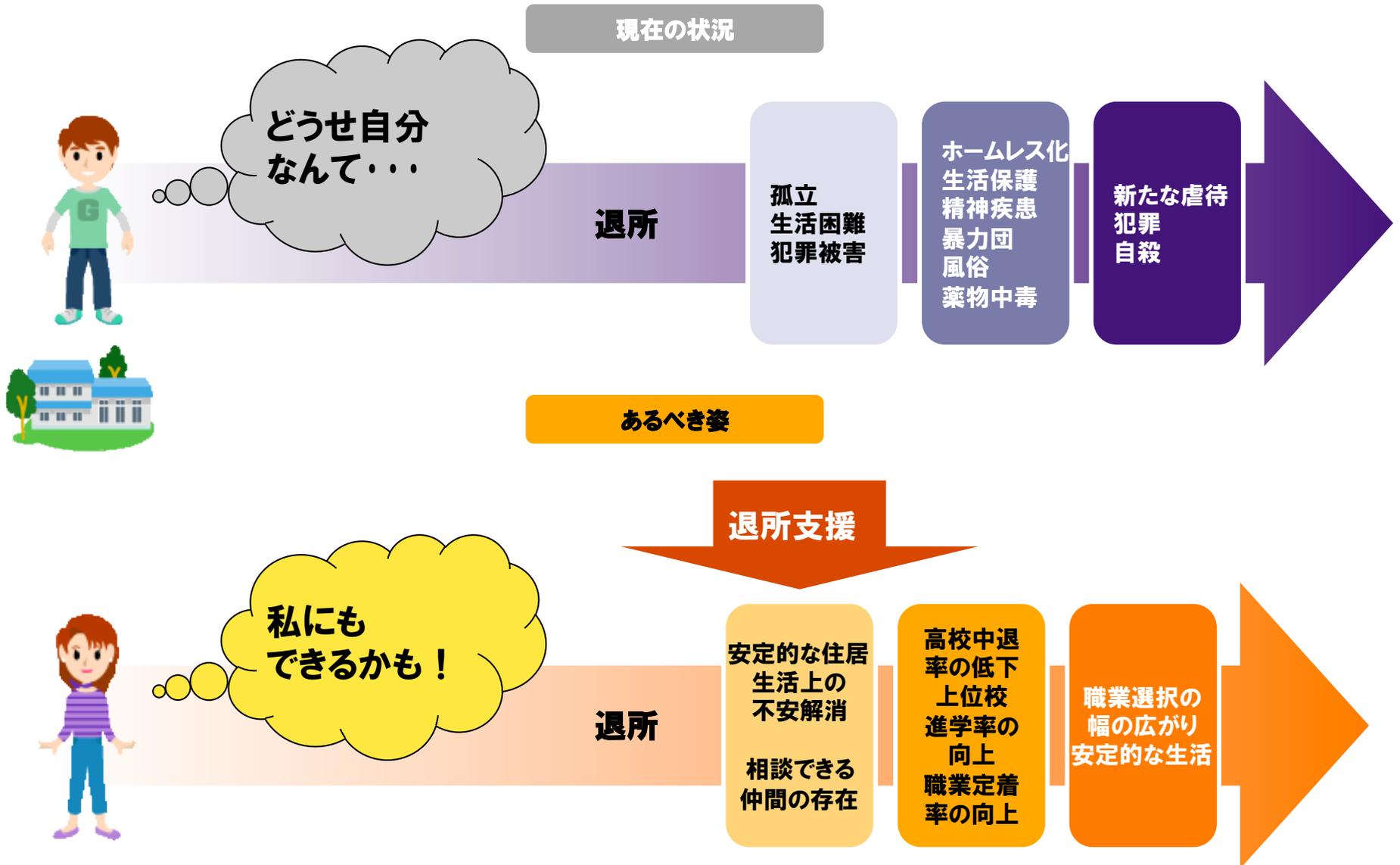
Total = 5,382



出所: 厚生労働省「平成19年度社会的養護施設に関する実態調査」



# 退所した先輩たちが活躍する姿は、身近なロールモデルとして、いま施設で生活する後輩たちの希望につながります





# ブリッジフォースマイルは、 社会と児童養護施設、子どもたちの未来に、笑顔をつなげます

日本の子ども達が、将来に夢と希望と生きがいを持って、笑顔で暮らせる社会を実現するために、ブリッジフォースマイルは、児童養護施設の子どもと職員等を支援しています。

## ブリッジフォースマイルのミッション

私たちは、次の3つの活動を通して、児童養護施設で生活する子ども達を支援することを使命としています。

- **自立支援**  
社会に巣立つ子ども達が健全に自立できるよう支援します。
- **啓発活動**  
子ども達を取り囲むこの社会全体が児童養護への関心を高めるよう活動します。
- **人材育成**  
子ども達を育てる人が子ども達によりよい支援を提供できるよう育成します。

## ブリッジフォースマイルの行う 自立支援事業の全体像

|                   | 中学生            | 高校生                                | 退所者   |
|-------------------|----------------|------------------------------------|---|
|                   |                | 巣立ちプロジェクト<br>出張セミナー<br>ブリッジキャリア    | アトモプロジェクト<br>スマイルングプロジェクト<br>カナエール          |
| <b>意欲</b>         | 職業体験           | 職業体験<br>コッコサポート<br>(ボランティアによる個別支援) | 自立ナビゲーション<br>(ボランティアによる個別支援)<br>キャリア支援・進学支援 |
| <b>仲間</b>         |                | ランチ会<br>修了パーティ                     | 交流イベント                                      |
| <b>能力<br/>スキル</b> |                | セミナー                               |   |
| <b>知識<br/>情報</b>  | セミナー<br>ハンドブック | セミナー<br>ハンドブック                     | アトメル(情報配信)                                  |
| <b>生活<br/>基盤</b>  |                | 生活必需品の提供                           | 住宅支援<br>就労支援<br>奨学金支援                       |



# ブリッジフォースマイルは、 設立から10年で着実に活動を展開してきました

## ◆カバー率

2013年度自立支援プログラム利用施設

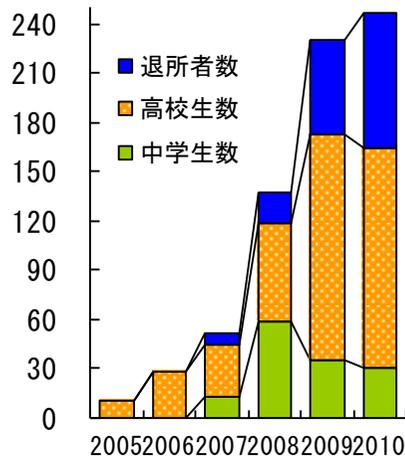
**<一都三県> 68%** 81施設／119施設

自立支援ハンドブック利用施設

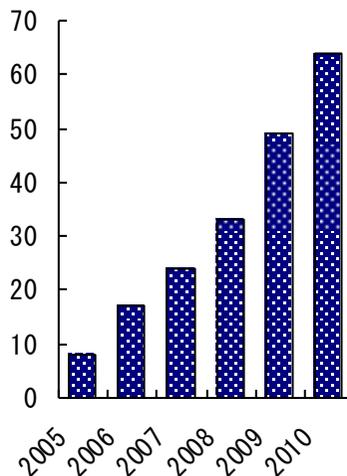
**<全国45%>** 268施設／583施設

## ◆国税局NPO認定（2011年8月）

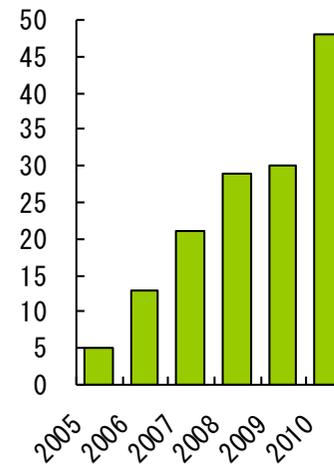
参加児童数



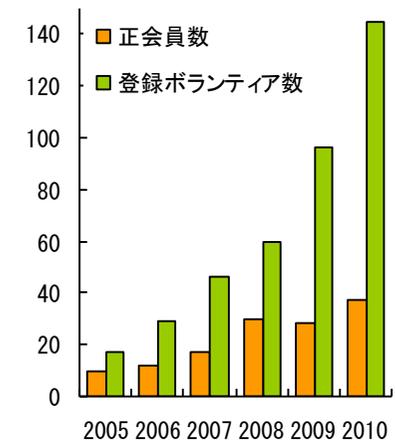
参加施設数



協力パートナー数



協力者人数





# INDEX

---

- ◆ NPO法人ブリッジフォースマイルのご紹介
- ◆ **奨学金支援「カナエール」のご紹介**



# 夢をかなえた、一人の女の子の物語

看護師になりたかった夢をかなえ、笑顔で働く23歳のハルカ。  
彼女は実の親に育ててもらえず、18歳まで岩手県にある児童養護施設で生活していた。

看護学校の学費や生活費の支払いが困難なハルカを支え続けたのは、  
彼女が育った児童養護施設の職員をはじめとする有志たち30人。  
「ハルカの夢をかなえる奨学金」として、看護学校を卒業するまでの3年間、  
彼女に送金を続けた。

だから、今のハルカがいる。  
くじけそうになっても、毎月届く30人のエールに励まされてきた。

「私一人じゃ、かなえられなかった。今度は私が後輩を応援する番」

これは、30人の大人たちが、子どもの夢見る力を支え、育て、  
次の子どもにも夢のバトンが渡されようとしている、とても素敵な物語。

私たちは、彼女の実話をヒントに、  
「挑戦する子どもたち×応援する大人たち」の「想いをつなぐプラットフォーム」を、  
本気で創ることにしました。

それが「カナエール」。

挑戦できるという希望を、すべての子どもたちへ。  
夢がかなう連鎖の社会が生まれます。



# 夢をかなえたい若者を大学等卒業まで支える 奨学金支援プログラム「カナエール」

児童養護施設を退所した若者たちが、  
夢を叶えるために大学等へ進学することを  
社会全体でサポートするプログラムです。



書類選考で選ばれた10名が  
ボランティアの協力の下、  
合宿や研修などを通して  
スピーチの準備をします。



10チームに分かれて、  
紹介ビデオの撮影、編集と  
スピーチの原稿作成を  
行います。



コンテストでは、寄付(入場料5000円、  
または月2000円を継続寄付)をくださる  
支援者の前で自らの夢を語ります。

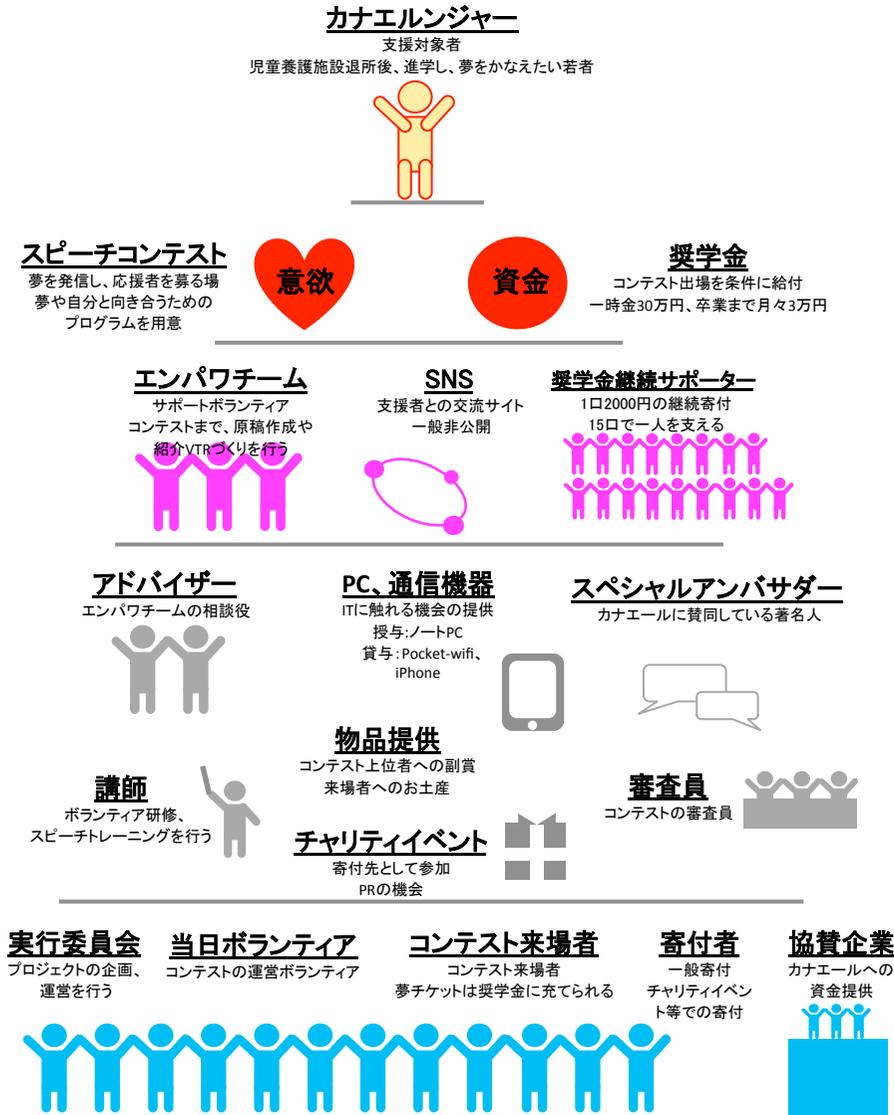
支援者とのつながり

奨学金  
一時金30万円と  
卒業まで月3万円

※コンテストの優劣に関わらず、  
奨学金は、全員に支給開始。



# 奨学金支援プログラム「カナエール」概要



**カナエールとは**  
児童養護施設退所者が、  
大学等への進学により夢をかなえるための、  
奨学金支援プロジェクト

**解決したい社会問題**  
児童養護施設退所者の進学格差解消

- ・大学等 **進学率 20%** < 75%(全国平均)
- ・大学等 **中退率 40%** > 10%(全国平均)

**支援内容**

- ①**資金:** 一時金30万円、  
卒業まで毎月3万円の奨学金
- ②**意欲:** コンテスト出場、  
卒業まで支援者との交流

**特徴**

- ①**資金だけでなく、内面の成長を促す**
- ②**若者・支援者双方の顔が見える**
- ③**多様な支援方法がある**